

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36878	
事業名		演劇公演支援費						
評価担当課		所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261	
施策名		誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な						
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外						
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
		○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)		演劇振興施策として、H24年度より札幌演劇シーズン開催に係る補助金を交付し、過去に高い評価を受けた演劇の再演事業を実施することとした。H17年度から行っていた「演劇創造活動支援事業」(稽古場賃借料補助)については、H27年度で完結させ、より市民への還元性の高い札幌演劇シーズンの補助に一本化を図った。					
	事業内容(何を実施し)		優れた演劇作品の再演を行う「札幌演劇シーズン」の開催経費の一部を補助することで、市民へ演劇作品の鑑賞機会を提供し、演劇ファン層の開拓、裾野の拡大を図る。 ・2023夏:4作品46公演5,448人 ・2024冬:5(3)作品34(33)公演2,216(1,983)人 ・年間来場者数7,664(7,431)人、前年比+961(+1,065)人 ※括弧内は、特別プログラムを含まない数字					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)		演劇の市民文化としての定着と札幌の新たな観光資源としての活用を図る。					
	他都市の状況		他都市においても、同様の演劇振興施策を実施。 (京都国際舞台芸術祭(京都市)等)					
	市民参加の実施		□ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外					
令和4年度決算額		12,000 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額		12,000 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	0.22 人工
令和5年度決算額		11,869 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	0.22 人工
令和6年度予算額		12,000 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	0.22 人工
指標	アウトプット活動指標1		「札幌演劇シーズン」年間公演数				という活動、業務を行うことで	
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			66	100	80	100	100	
	↓							
	アウトカム成果指標1		「札幌演劇シーズン」年間来場者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			6,703人	13,000人	7,664人	13,000人	13,000人	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		観客数はコロナ禍で大きく落ち込んだ後徐々に回復しており、前年に比べ観客数は増えているが、目標値には届いていない。1シーズン化をはじめとした開催形態の見直しにより集客増を図る。					
	アウトプット活動指標2						という活動、業務を行うことで	
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓							
アウトカム成果指標2						という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方								
今年度の見直し内容		これまで夏と冬の2シーズン制であったが、令和6年度からは、総公演数は維持しつつ夏の1シーズンに統合することで、祝祭感を醸成するとともに、広報面等の効率化を図る。						
来年度以降の方向性		引き続き運営上の効率化を検討しながら、演目等の充実を図る。						